里庄町地震ハザードマップ
地域危険度マップ

お問い合わせ

里 庄 町 役 場　　建 設 課

〒719-0398　里庄町里見1107-2　　TEL 0865-64-7213　FAX 0865-64-3117

地 域 危 険 度 マ ッ プ と は

このマップは、揺れやすさマップ（表面）に示す予想震度分布（重ね合わせの最大震度）と、構造別・建築年代別に整理した建物データをもとに、約50ｍ四方に含まれる建物のうちの何％の建物が全壊する可能性があるかを示したものです。危険度が高い地域にある建物に対しては「耐震化」を行い、地震に対する備えを行うことが重要です。

■ 地域危険度マップの作成方法

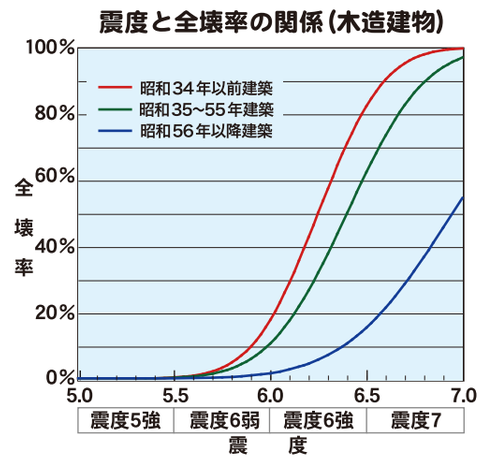
整　理　里庄町域の建物の分布状況を構造別・建築年代別に区別して整理します。

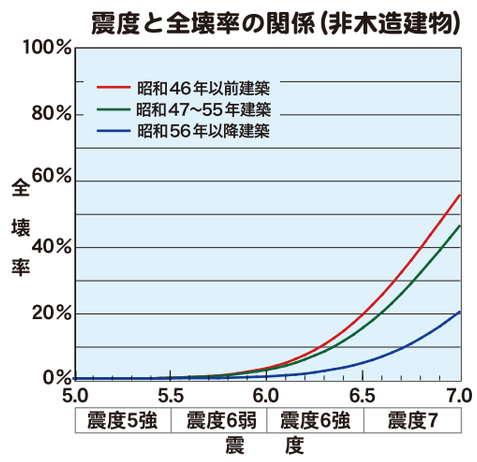
計　算　過去の地震被害記録から求められた震度と全壊率の関係（右のグラフ参照）から、各地域での全壊率を計算します。

■ このマップを使って、こんなことを確認してください

- 自分の家や近所の危険度はどのくらいか
- よく行くところ、よく通るところの危険度はどのくらいか
- 避難場所や避難経路沿いの危険度はどのくらいか

■ 震度と全壊率の関係





※ 地震防災マップ作成技術資料（内閣府　平成17年）より作成

※ このマップに示す地域危険度は、地域としての建物被害の危険性を示したものであり、個別の建物危険度を示すものではありません。

地震による建物被害の事例

阪神・淡路大震災の死亡原因

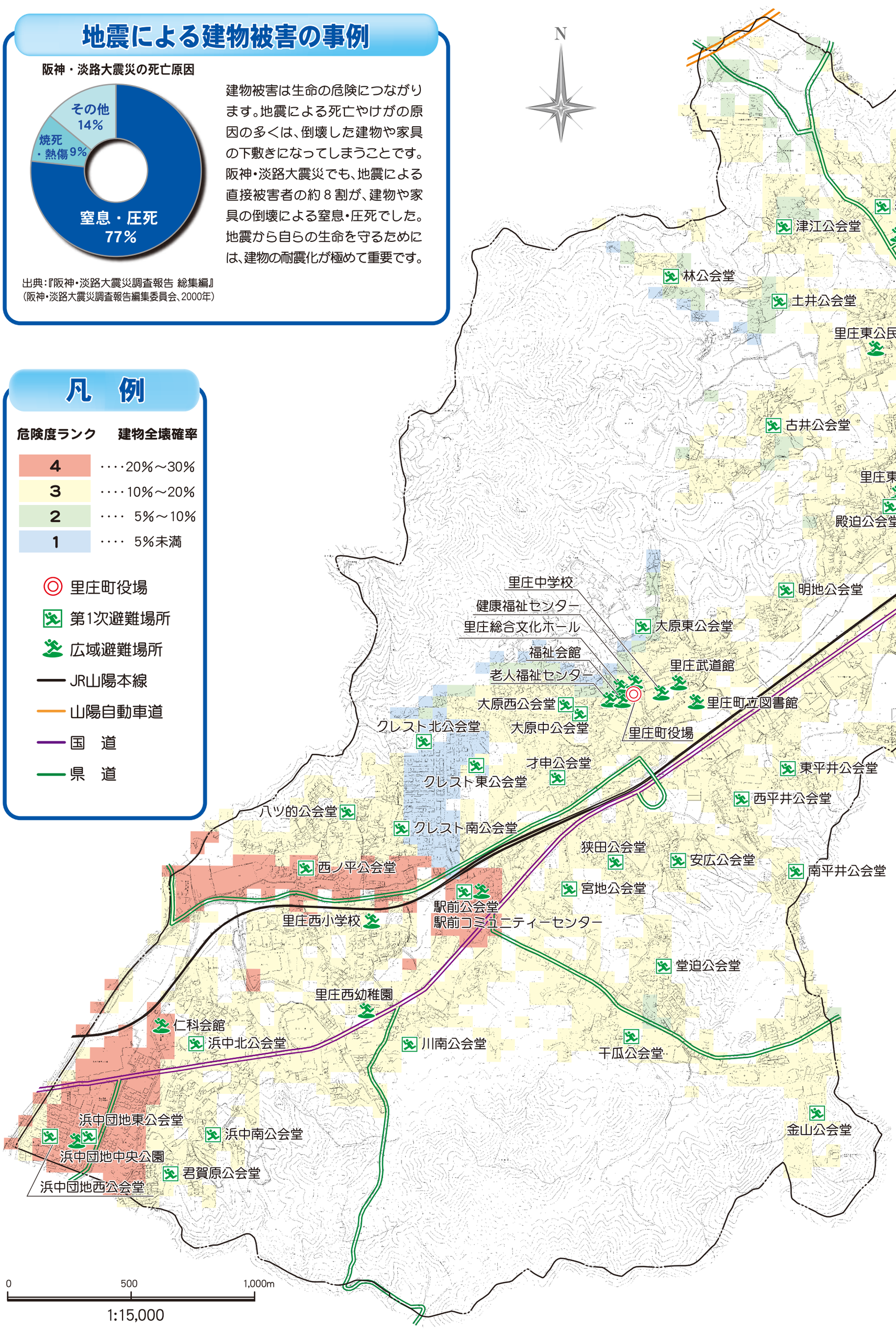
出典：『阪神・淡路大震災調査報告 総集編』
（阪神・淡路大震災調査報告編集委員会、2000年）

建物被害は生命の危険につながります。地震による死亡やけがの原因の多くは、倒壊した建物や家具の下敷きになってしまうことです。阪神・淡路大震災でも、地震による直接被害者の約８割が、建物や家具の倒壊による窒息・圧死でした。地震から自らの生命を守るためには、建物の耐震化が極めて重要です。

凡　例

危険度ランク	建物全壊確率
4	・・・・20%～30%
3	・・・・10%～20%
2	・・・・ 5%～10%
1	・・・・ 5%未満

- ◎ 里庄町役場
- 第1次避難場所
- 広域避難場所
- JR山陽本線
- 山陽自動車道
- 国　道
- 県　道



建物被害の種別

全　壊

建物の全体、もしくは一部の階がすべて倒壊している。

外壁や柱の傾斜が1/20以上である。

半　壊

居住する上で一部支障をきたす。

一部損壊

壁面に亀裂が生じている。外装に若干の剥離がある。

無被害

被害が生じていない。